

21 大坂南組立売堀阿波橋町文書(現 大阪市西区阿波座二丁目)
ア9-5-7-2

資料 番号	文書群名	表題	年代	差出・作成者	宛所	原・ 写・ 案	形状	数量	寸法 (cm)	欠損状況	一括状況	裏書・端裏書・包紙上書など	説明・注記	主題
1	大坂南組立売堀阿波橋町文書	人別帳 南組立売堀阿波橋町	万延1.10.(1) (～文久3.10.1)	—	—	原	縦帳	1冊	32.2×23.8	表紙汚損小		(表紙貼紙)「嘉永元申年ヨリ廿四冊□□(ノ内)」	万延元年～文久3年の4年分を1冊に仕立てる。町年寄紙屋利兵衛より開始。家持の後に借屋人が続く。世帯ごとに赤鉛筆で数字記入	戸口
2	大坂南組立売堀阿波橋町文書	〔立売堀阿波橋町入用帳〕	(嘉永1.6.-～安政2.12.-)	〔阿波橋町月行司〕	—	原	横半帳	1冊	14.8×21.8	表紙欠、一部綴じ外れにて落丁、シミ中		(裏表紙)「阿波橋町月行司」	嘉永2年1月～同8月分落丁。家数18～19軒、役数28。年頭・八朔御礼で東西町奉行所関係の人員がわかる。表紙に「大阪」と書かれた現代の付箋あり。「春原研究室蔵」のラベル挟み込み	町財政